

令和5年度6月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

- 【 会議名称 】 令和5年度6月期古賀市社会教育委員の会議
- 【 日 時 】 令和5年6月20日（火） 18時30分～20時00分
- 【 場 所 】 リーバспラザこが交流館 103洋室
- 【 主な議題 】 社会教育団体への補助金の協議
笑顔のつどいの打ち合わせ
第3次古賀市生涯学習基本計画策定
- 【 出席委員 】 井浦議長、角森副議長、村山委員、丸井委員、橋爪委員、砥上委員、倉掛委員、石川委員、山本委員（以上委員9名）
- 【 欠席委員 】 なし
- 【 事務局 】 生涯学習推進課長、村上参事補佐、平川、八木
- 【 傍聴者数 】 0名

【 配布資料 】

(0)－①レジュメ

～社会教育団体への補助金の協議～

(1)－①社会教育関係団体に対する補助金交付に関する意見について

～笑顔のつどいの打ち合わせ～

(2)－①各パネリストとの協議の進捗状況

(2)－②笑顔のつどいスケジュールについて

(2)－③タイムスケジュールについて

(2)－④笑顔のつどい進行原稿（簡易版）

(2)－⑤笑顔のつどい進行原稿

(2)－⑥笑顔のつどいパンフレット

～第3次古賀市生涯学習基本計画策定～

(3)－①第2章2. 古賀市がめざす生涯学習 キーワード一覧

【次 第】

1. 開会あいさつ

2. 協議事項

(1) 社会教育団体への補助金の協議

〔資料(1)－①〕

(2) 笑顔のつどいの打ち合わせ

〔資料(2)－①②③④⑤⑥〕

◇ 各担当から発表者との協議の進捗状況

◇ 今後の流れ、パンフレットについて

(3) 第3次古賀市生涯学習基本計画策定

〔資料(3)－①〕

◇ 第2章 古賀市におけるこれからの生涯学習・社会教育振興
2. 古賀市がめざす生涯学習

◇ 第2章 古賀市におけるこれからの生涯学習・社会教育振興
3. 生涯学習振興にたいせつな視点

3. その他

(1) 各委員から

◇ 5月25日(木) 令和5年度糟屋地区社会教育振興会評議員会総会の講演

(2) 事務局から

◇ 7月7日(金) 市町村社会教育委員初任者研修会について

◇ 古賀市社会「同和」教育推進協議会の資料配布について

(3) 次回開催日程決め

4. おわりの言葉

【 会議内容 】

1. 開会あいさつ

2. 協議事項

(1) 社会教育団体への補助金の協議

〔資料(1)－①〕

(事務局)

社会教育団体に対する補助金交付に関する意見〔資料(1)－①〕について説明。
記載されている意見が前回会議にて協議した内容と間違いがないか確認していただきたい。

(井浦議長)

事務局で作った原案を事前に確認し、私の方でも、文言の修正を行った。
講習会や講演事業に制限されているように思われるので、広げていく必要があるのではないかと思う。
この内容でよろしいでしょうか。

(各委員)

問題ない。

(2) 笑顔のつどいの打ち合わせ

〔資料(2)－①②③④⑤⑥〕

◇ 各担当から発表者との協議の進捗状況

(井浦議長)

各担当から発表者との協議の進捗状況を報告をお願いします。

(橋爪委員)

女声コーラスアマービレの中野恭子氏と、6月23日金曜日に内容進行等の打ち合わせを行う。

資料を使い説明しながら、中野恭子氏がどのようなお話をされるのかを確認し、7月期社会教育委員の会議で報告する。

(村山委員)

小野校区運営協議会の木村俊明氏と打ち合わせをした。

笑顔のつどいがどういったものなのか、テーマは何かといった内容を資料を使い説明した。

発表は、木村俊明氏か、渡氏のどちらかが発表すること。

今のところは、木村俊明氏本人が発表予定のこと。

笑顔のつどいの本筋を説明することで、発表に対して安心でき、意欲を持って取り組んでくれると思う。

(丸井委員)

古賀市少年の船の福永保会長と話をした際、笑顔のつどいの内容が知りたいとのことだった。

今度、資料を使い説明に行く。

(砥上委員)

古賀市少年の船の松島岩太氏と打ち合わせを行い、笑顔のつどいの内容の説明を行った。

◇ 今後の流れ、パンフレットについて

(事務局)

笑顔のつどいのパネルディスカッションの進行案〔資料(2)－②③④⑤〕

について説明。

タイムスケジュール案は、橋爪コーディネーターや、各担当委員に修正していただく必要がある。

(事務局)

パンフレット〔資料(2)－⑥〕について説明。

パネリストの紹介文の案を事務局で作成したので、発表者との打ち合わせで内容の確認をしていただきたい。

7月期社会教育委員の会議を目安にパンフレットを作成し、区長会等で周知したい。

(井浦議長)

登壇者に実際に来ていただくのは、9月2日でしょうか。

(事務局)

はい。

笑顔のつどいの前日にリハーサルを行う。

ただ、都合の悪い方もいると思う。

その場合は、別日で打ち合わせ可能な部屋を準備するので、連絡してください。

(井浦議長)

〔資料(2)－③〕に6、7月にパネリストとコーディネーターの顔合わせとあるので、リハーサルとは別日に打ち合わせがあるということか。

(橋爪委員)

はい。

前年は、7月か8月に打ち合わせをした。

(事務局)

コーディネーターの役割として、各団体の登壇者の発表時間を揃える必要がある。

そこまで急いでコーディネーターの打ち合わせをする必要はないのかなと思う。

(橋爪委員)

予定があり、9月2日の打ち合わせには参加することができない。

(井浦議長)

8月頭に発表原稿を頂いて、盆明けから月末にかけて日程調整を行うような形で動いたらどうでしょうか。

(橋爪委員)

はい。

そのような形で動きたい。

(事務局)

パンフレットに使う写真が必要なので、打ち合わせ日程を教えてください。

事務局が写真を撮りにいく。

また、打ち合わせ等で部屋が必要であれば、連絡をお願いします。

タイムスケジュール案〔資料(2)－④⑤〕では細かく書いてありますが、コーディネーターや各担当で修正していただくような形でお願いしたい。

(井浦議長)

タイムスケジュールにフロアとの交流の時間が30分とってあるので、この時間を調整すれば、前後の時間は長くなっても修正できると思う。

(3) 生涯学習基本計画策定

[資料(3)-①]

- ◇ 第2章 古賀市におけるこれからの生涯学習・社会教育振興
2. 古賀市がめざす生涯学習
 3. 生涯学習振興にたいせつな視点

(事務局)

生涯学習基本計画の第2章の2. 古賀市が目指す生涯学習と3. 生涯学習振興にたいせつな視点を、前回出たキーワード〔資料(3)-①〕を使いワークショップ形式で決めていく。

以下キーワード一覧

- ・楽しく ・楽しむ ・楽しく学ぶ ・楽しく続けて
- ・輝く ・ウェルビーイングの実現 ・生きがいをうむ
- ・趣味 ・余暇 ・私の学びから地域づくりへ
- ・地域を好きになる ・古賀に還元 ・地域で育てる
- ・個の学びと社会の学び ・個の学びから先に広がる
- ・スキルアップ ・リカレント ・学び直し ・今、学びたい
- ・今からできる活動 ・人とつながる ・つながり ・つながる
- ・ひろがり ・ひろがる ・団結
- ・社会の一員として社会性を学ぶ ・社会の一部としての実感
- ・誰でも ・どこでも集える ・タイミング（時間的・物理的）を選ばず
- ・身近 ・新たな発見 長く続けていく

それぞれ付箋にキーワードを書いているので、まずは、似たような言葉でグループを作っていたらどうか。

(橋爪委員)

楽しく、繋がるといった言葉が土台になるのではないかな。

(倉掛委員)

個の学びがインプットで、社会での学びがアウトプットになるのではないかな。

(井浦議長)

生涯学習に関する市民アンケート結果を見ると、こういった形で新しい活動を始めたい

かに対して、1人でもできると回答している人が多い。

こういったことも、身近さ、手軽さというところにもなる。

(砥上委員)

個で楽しんでいても、最後には誰かに発表したいこともあるかと思う。

(倉掛委員)

社会は一人じゃできない。

(事務局)

今のキーワードを書いた付箋の動きを見ると、生涯学習的なエリアと、社会教育、支えあ
いのエリアが出来てきている。

(角森副議長)

個の教育が凄く充実してきている。

それが大人になった時に生きてくると思う。

個人を大事にする教育は大事だけど、それが浸透した結果が今の社会かなと思う。

(橋爪委員)

個と、協働協力を繋げるのが難しい。

何か仕掛けが無いといけない。

(倉掛委員)

県の事業でデンマークに行く機会があった。

そこで、デンマークは個人主義だと感じた。

ただ、私たちが想像する個人主義とは違って、例えば、社会制度が整っていることに対し
て、全ての仕組みは国民である私たちが作っているという意識。

個人主義だけど、その個人主義が守られているのも社会があるからという考え方。

(橋爪委員)

当事者意識があるということで、社会も自分ごとということ。

(倉掛委員)

そういう個の大切さが良いと思った。

個を大切にということは、好き勝手にしていいよということではない。

(井浦議長)

今まで、生涯学習をしていなかった人へも働きかけたい。
そのうえで、そこから繋がっていくということを伝えられれば。

(砥上委員)

何か仕掛けがいる。
交流の場みたいな仕掛けで繋げるとか。

(事務局)

最終的なイメージは、「〇〇な生涯学習」「〇〇の生涯学習」「〇〇ができる生涯学習」と
いったふうにまとめていく。

それでは、今から、キーワードを分けたグループを、それぞれ一言で「〇〇」というよう
に、表していただく。

(橋爪委員)

「個性を活かす生涯学習」「個性輝く生涯学習」「個から始まる」

(倉掛委員)

「私から」「みんなですっと」といった優しい言い方はどうでしょうか。

(村山委員)

一步踏み出す力というのが、個にあると思う。
そういったことがわかるような表現だと目標に繋がるのではないかと思う。

(倉掛委員)

今年、区長をしていて、似たような活動をしている団体と一緒に事業をする機会があると
良いと思った。

お互いの団体の違いを認めただうえで、一回くらい繋がりませんかといった機会があると
良いのかなと。

(砥上委員)

引きこもっていると思っていた子供も実はゲームで繋がりを持っていたりする。

(事務局)

そういった社会情勢があるということは認めていかないといけない。
そのうえで、じゃあどうするかを考える必要がある。

(井浦議長)

個から、仕掛けの部分があって、それが繋がり広がる社会へと。
その仕掛けるを、リーパスプラザから始めていく。

(石川委員)

一番は楽しくだと思ふ。
楽しくないと繋がっていかない。

(事務局)

それでは、一旦、事務局の方で預かって、「〇〇の生涯学習・社会教育」といった形で第2弾を作成します。

前回会議にて村山委員から、生涯学習の柱は個別のものではなく、立体的に繋がっていくのではないかという意見がでましたが、今回の話し合いの中でも、そのような話が出ていた。

まずは、個人のモチベーション、楽しくなくてはダメという言葉があって、そこがきっかけとなり、個から始まり、仕掛ける。

この仕掛けることで、それを潤滑剤として、みんなで繋がるというところへ持っていく。

このような形で、事務局案を作成させていただく。

また、今回の話し合いの中で、生涯学習振興にたいせつな視点のキーワードが沢山出てきましたので、こちらも次回会議にて提示させていただきたいが、よろしいか。

(各委員)

はい。

3. その他

(1) 各委員から

- ◇ 5月25日(木) 令和5年度糟屋地区社会教育振興会評議員会総会の講演に

(2) 事務局から

- ◇ 7月7日(金) 市町村社会教育委員初任者研修会のご案内について
- ◇ 古賀市社会「同和」教育推進協議会の資料配布について

(3) 次回開催日程決め

- ◇ 7月19日(水) 18時30分から
リーパスプラザこが 103洋室

4. おわりの言葉